

令和8年度当初予算 (記者会見用)

令和8年2月13日
高砂市



予算の規模

	令和8年度	令和7年度	増減額	伸率
一般会計	429 億 7,706 万円	418 億 9,693 万円	10 億 8,013 万円	+2.6
特別会計	191 億 9,147 万円	188 億 5,845 万円	3 億 3,302 万円	+1.8
公営企業会計	180 億 3,831 万円	158 億 2,267 万円	22 億 1,564 万円	+14.0
全会計	802 億 684 万円	765 億 7,805 万円	36 億 2,879 万円	+4.7

＊ ＊一般会計の特徴＊ ＊

令和8年度当初予算は、一般会計において前年度を10.8億円上回ることとなり過去最高の予算額となりました。主な要因としては、市民病院指定管理者制度導入に要する経費や物価高騰対策であるプリペイド型ギフトカード配布業務事業、また前年度に引き続き、人事院勧告による人件費の増や物価高騰等による行政経費の増となります。

歳出の増についての財源については、地方交付税等の収入増により賄っています。

歳入・歳出の主なポイント

歳入

①市税 171 億円（前年度比△1.3 億円）

- ・ 個人市民税の増（+2.4 億円）、法人市民税の減（△4.9 億円）、固定資産税の増（+1.2 億円）

②地方譲与税等 33 億円（前年度比+1.8 億円）

- ・ 配当割交付金の増（+0.5 億円）、地方消費税交付金の増（+1.2 億円）、株式等譲渡所得割交付金の増（+0.5 億円）、環境性能割交付金廃止に伴う減（△0.6 億円）

③普通地方交付税 36 億円（前年度比+8 億円）

- ・ 社会保障関係費、人件費の増等により基準財政需要額が増となる一方、法人市民税の減等による基準財政収入額の減により交付基準額が増したことによる増

歳入・歳出の主なポイント

歳出

①人件費 78 億円（前年度比+3.2 億円）

- ・ 人事院勧告に伴う給与改定等による増

②行政経費 266 億円（前年度比+23.9 億円）

- ・ 市民病院指定管理者制度導入に要する経費、市民病院建設基本構想・基本計画策定に要する経費、文化会館整備基本構想策定に要する経費、家計応援事業（プリペイド型ギフトカード配布）に要する経費など

③投資的経費 25 億円（前年度比△18 億円）

- ・ J R 曾根駅周辺整備事業、米田地域交流センター等改修事業、斎場整備事業、消防庁舎整備事業、高砂児童学園建設事業、小・中学校施設建設事業（改修）など

④その他

- ・ 中学校特別教室空調設備借上料（債務負担行為額 6.9 億円）